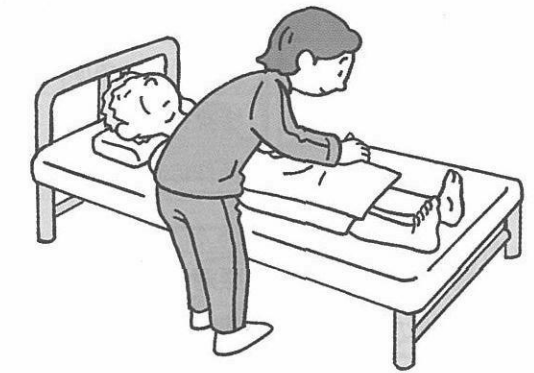


事例34	その他	介護中、犬に噛まれる……………	36
事例35	交通事故	自転車で走行中、飛び出しを避けガードレールに衝突……………	37
事例36	交通事故	自転車で走行中、乗用車と接触し転倒する……………	38
事例37	交通事故	バイクで走行中、飛び出したネコと衝突し転倒する……………	39
事例38	交通事故	バイクで走行中、交差点で衝突する……………	40
事例39	交通事故	乗用車運転中、標識に衝突する……………	41
事例40	交通事故	乗用車の車庫入れ操作ミス、電柱・塀に衝突する……………	42
2 腰痛予防体操（参考例）……………			43
3 ヒヤリ・ハットについて……………			45

事例1 オムツ交換時、腰に違和感、帰宅後に激痛

1 災害の概要

項目	内容
介護労働者	経験3年、30歳代の男性
作業	排せつ介助作業
災害の型	動作の反動、無理な動作
起因物	人
傷病	腰痛（骨盤の異常）
災害の程度	4週間の休業災害



2 発生状況

介護労働者が、オムツ交換作業中に腰に違和感を覚えたが、介助の途中でもあったのでそのまま作業を続けた。

しかし、帰宅し横になったときに腰に激痛が走り動くことが出来なくなった。その後も一向に回復しなかったため、夜2時ごろに、急遽、救急車を呼び入院した。

3 原因

- (1) 前屈みの作業が続き、利用者の身体をずらす時に腰部に無理な力がかかった。
- (2) 2月の厳冬の中、身体が冷えている状態で作業を行っていた。
- (3) 腰痛に対する意識が希薄であった。
- (4) 腰部に疲労がたまっていた（自覚があった。）が放置していた。

4 対策

(1) 事業者

- ① 腰痛予防等の教育・研修・実技指導を行い、介護労働者の意識を高める。
- ② 腰部を痛めにくい作業姿勢で行うよう徹底する。
- ③ 腰痛予防体操等の教育を行う。
- ④ 腰部保護ベルトの使用を徹底させる。

(2) 介護労働者

- ① 排せつ介助作業は腰に力を入れやすく、腰をひねりにくい位置で作業を行う。
- ② 事前に腰痛予防体操等を行うことにより、身体を暖めてから作業を行う。
- ③ 普段から腰痛予防に取り組む。
- ④ 腰部保護ベルトの着用を徹底する。